

事業名	弥富公民館 歴史講座						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	①令和2年10月15日(木) ②令和2年10月29日(木) ③令和2年12月5日(土)	講師	①佐倉市史編さん担当学芸員 ②千葉県文書館 浪江健雄 ③千葉市立郷土博物館 土屋雅人	参加費	①②③とも無料		
対象者	①②③とも市内在住・在勤の成人	参加者数(延べ)	①13人②24人③30人 計67人	募集方法	公民館だより・こうほう佐倉・市ホームページ		
趣旨	成人教育事業・佐倉学入門講座『弥富公民館・歴史講座』として、市内成人を対象とし、地域の歴史・文化を学び、伝えていくための講座を行うものです。 本年度は、新型コロナウイルス感染症対応を考慮する中で、地域の伝統・歴史・文化への関心を誘起する契機とすることを意図し、各回単発の『歴史講座』として3回を実施しました。						
内容	①「弥富の歴史を歩く」…八幡神社・岩富城跡・長福寺・熊野神社といった、弥富地区の歴史・社寺を徒歩にて散策しました。ふるさとへの関心と誇りを高め、散策を通して、郷土を学ぶ機会としました。 ②「藩士のルールとワークライフスタイル」…藩士たちがどのような規則のもと生活していたか。関宿藩の執務規則から藩社会の実像に迫り、関連して佐倉市における藩制への興味を高める契機としました。 ③「佐倉炭について学ぶ ～弥富地区との関連も含めて～」…弥富地区においては、佐倉炭をはじめ、様々な商品の生産・商売・流通を行っていた家も多く、当時の弥富における生活を窺い知る事が出来るものです。弥富公民館や弥富小学校では、炭焼きをテーマに体験学習を実施しており、伝統的な生活に触れる事が出来るものです。こうした弥富地区に縁の深い「佐倉炭」について学び、理解を深めることで、地域への愛着と関心を高める契機としました。						
工夫	新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるため定員を少人数とするとともに、現地・会場にて参加できない方のため、及び講座の内容を広く周知する一助として、①「弥富の歴史を歩く」の編集動画をYouTubeで公開、②「藩士のルールとワークライフスタイル」の講座資料を不参加の希望者へ郵送、③「佐倉炭について学ぶ」の講座をオンライン（ZOOM）参加（ライブ配信）、を実施しました。						
成果	各講座とも、満員の参加により、受講者の学習意欲に応える事が出来ました。 昨年度までの「中世の弥富」の歴史講座の中で、「実際に現地を訪ねてみたい・訪ねてみると良いのではないか」、との過去の参加者等の意見に沿い、現地散策を実施し、座学より広がりのある学習を行う事が出来ました。 また、YouTubeやZOOMを活用し、弥富公民館に来る事ができない方への学習機会の提供を行う事が出来ました。						
課題	各講座とも、募集定員を上回る申し込みがあり、YouTubeやZOOMを活用したものの、新型コロナウイルス感染症対策のもと、「集う・結ぶ（つなぐ）」という役割を十分に発揮できたとは言い難いと考えます。新しい生活様式に沿った公民館活動を研究・模索していく必要があります。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	B	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》 ① ← A B C D → ② ③ ④ ⑤

《判定例》

A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	B	A	A	A
A	A	A	B	A	B	B

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		佐倉という地域で学ぶ意義の大きな事業を、状況に即した工夫を加えながら実施され、大きな成果を上げられたと感じます。
総合評価	A	

委員②		興味深いテーマのため、参加者が多くあったのだと思います。今回は単発でしたが、どこまで深めて学びたいかについてのニーズは把握していると思いますので、今後それを生かして、テーマ設定とテーマについての深め方や実施回数の検討をお願いします。今年度は関心を誘起する契機とすることが意図のため、YouTubeの内容も十分であったと思います。講座のオンライン化は、講座内容や予算と併せて慎重に検討してください。
総合評価	A	

委員③		コロナ禍の中でZOOMやYouTubeなどICTを活用して何とか講座開催にこぎつけて、お疲れさまでした。ICTのスキルが受講生により多様だと思われます。サブとして、ICT活用講座を開くのもよいかもかもしれません。
総合評価	B	

委員④		地域の散策で歴史を知る事が出来て良かったです。
総合評価	A	

委員⑤		コロナ禍であっても綿密な感染症対策や動画配信などがあれば学ぶ機会が得られる事を立証できました。
総合評価	A	

委員⑥		来年度も受講者の要望に答えて是非やっていただきたいと思います。
総合評価	A	

委員⑦		「歴史物」といわれる講座の根強い人気の高さを、参加率が示しています。募集を制限しなければならぬのは全館共通の悩み。その一方で気になるのが、受講者に占める地区住民の参加率が低いこと。和田地区と共通の悩みは高齢者世帯が増加し、小学校には地区内の新入生の増加は見込めない状況にあること。かつて運動会といえば、グラウンドに入りきれないほどの老若男女で溢れかえっていたといいます。「いずれ、廃れる」ではなく、「いつまでも誇れる」を住民意識として共有する機会がないのが実態です。とりわけ若い世代には、自分の生まれ住む地域の今昔に関心が薄い気がします。公民館の役割として、「地域住民を呼び込もう！キャンペーン」が必要と思います。地域住民への地域文化の伝達は最も公民館に相応しい仕事です。学校との連携も一策かと思いますが。
総合評価	A	

委員⑧		今回の講座は、新型コロナ感染症対策を考慮し歴史講座は①「弥富の歴史を歩く」②「藩士のルールとワークライフスタイル」③「佐倉炭について学ぶ」の3回に分けて実施され、各講座とも応募定員を上回る申し込みが有り人気を博している。また、YouTubeやZOOMを活用して事業の実施に改善策を図っている。この地域は歴史の深い地域のため更なる歴史への関心が持てるよう期待します。
総合評価	A	

委員⑨		12/5の講座に参加させていただいたが、内容や講座の開設環境もよかった。
総合評価	A	

委員⑩		地域の伝統・文化・歴史への関心を高める企画として、コロナ禍の中で3講座を実施されたことは、すばらしい。 「弥富の歴史を歩く」は、雨中散策のYouTubeを視聴し、歴史が良く分かりました。江戸時代、弥富地区が、「佐倉炭」の主産地で、江戸の入荷量で佐倉炭の占める割合が最大であったと知りました。講座の一部をZOOMで配信されたことは、これからの講座の在り方を考える機会になったと思います。
総合評価	A	

委員⑪		地域の歴史（古い時代）を知ることは、大切な事です。十分な成果を感じます。弥富という古い歴史と田園豊かな環境は、地元民はもとより、広い佐倉全体の人達に知ってもらう方策を考えることがとても大切であると考えます。地元の方々と地元外の方々の交流を通じて、地域の魅力を感じてもらえる活動も今後は大事な方向と考えます。
総合評価	B	

委員⑫		(特になし)
総合評価	A	

委員⑬		・弥富の歴史・昔話のなかから、藩社会・佐倉炭とテーマの掘り下げが興味深いです。
総合評価	A	

委員⑭		少人数での散策「弥富の歴史を歩く」は、実際に現地を講師と歩きながら学習できる、コロナ禍にあっても安心な講座だと思えます。現地を訪れる場合は、まず座学で概要を学んでからの方がより一層理解を深めるのではないのでしょうか。また、今回はユーチューブで配信されており、より多くの方々に弥富地区を知る機会を提供できたことでしょうか。歴史関連の講座は人気があり、いずれも定員超過とあることから、これからもユーチューブでの配信やZOOMの活用を期待します。 「佐倉炭について学ぶ」は弥富地区が茶道用の良質な炭の産地であり運送業者としての役割も果たしていたという興味深い講義でした。受講は先着順のようですが、いつも同じ人ばかり受講するのではなく、定員が超過した場合は抽選にして、大勢の人が受講できる機会を増やして欲しいものです。
総合評価	A	

委員⑮		〇コロナ禍の講座でも大変希望者が多く、参加者の意識の高さがみられます。「弥富」という地域の特性を具体的に扱った点がすばらしいと思います。
総合評価	A	△やはりZOOM参加者は少ないとのことですが、内容によって実際に体験して感じとりたいものはあるでしょう。